



魅力いっぱい！ 競技ドッジボール

関スポ少「グリーンキッズ」

全国大会に向けて、本番さながらに練習に励む子どもたち。小学4年生から6年生までの男子・女子メンバーが、競技としてのドッジボールに取り組んでいます(競技は男女混合)。

2チームが左右に分かれ、お互いにボールをぶつけ合い勝敗を競うドッジボール。競技としてのドッジボールは、公園などでするドッジボールとは一味違い、攻守の展開の速さ、作戦を駆使した頭脳的プレーなど、迫力を感じさせます。そんな競技に取り組むのは、亀山で唯一の小学生ドッジボールチーム「関スポ少『グリーンキッズ』」。週4回の練習に励み、そのかいあって、今年1月の「全国小学生ドッジボール選手権三重県大会」を勝ち抜き、全国大会への出場(11年ぶり)を決めました。

一チームができたきっかけは？

「24年前の平成4年にチームは発足しました。当時、ドッジボールを題材にした少年漫画が大人気で、子どもたちからドッジボール

を教えてほしいと言われ、始めたのがきっかけです。その後、現在まで継続して活動してきました。」

一ドッジボールの魅力は？

「試合時間はわずか5分。その間に何度も攻守が入れ替わる白熱した試合は、競技する小学生、観る応援者ともに興奮します。また、わずかな時間に全力を注ぐため、集中力や瞬発力、または強い精神力が養えるスポーツと言えます。」

一どのようなチームですか？

「強いボールを投げる子、キャッチするのが得意な子、ボールを避けるのが上手な子など、個人の特徴はさまざまです。全体的には、上級生が下級生を引っ張り、下級生は上級生を慕い、チームワークがとても良いですね。」

一楽しいときや嬉しいことは？

(チームの小学6年生に聞きました！)

「強いボールを集中してキャッチできたとき」、「ボールを思い通りのコースに投げられたとき」、「相手にうまくボールをぶつけたとき」、「試合で自分の役割を果たしたとき」、「試合に勝って喜びあえたとき」、「みんなで協力して全国大会に出場できたこと」

一これからは？

「ドッジボールの競技人口は全国的にも年々少なくなってきました。子どもたちに楽しさを知ってもらい、ドッジボール仲間が増えると良いですね。そしてこれからも、亀山で子どもたちがドッジボールを競技できる環境があり続けることを願っています。」



図書館の本棚から

市立図書館
(☎82-0542)



『ごはんのおとも』 満留邦子／著
成美堂出版 (2015年8月刊)

つやつや輝く、真っ白なごはん。そこにおともをポンとのせる。最高に簡単で最高に美味しい最初の一杯をいただきます！卵に納豆、ちりめん山椒に佃煮…。白いごはんのおいしさを最大限に引き出す、素敵な「おとも」たちを大紹介するレシピブック。



『断貧サロン』
谷川直子／著
河出書房新社 (2014年10月刊)

借金まみれのエリカ。ある日、見知らぬ女から「あなたの彼は貧乏神だ」と言われ…。働かないイケメンの彼氏をもつ女たちの、「貧乏を断つ」ためのサロンBHK(貧乏神被害者の会)を描く。

～新着だより～

小説

- よはひ／いしいしんじ
- ニューカルマ／新庄耕
- わたしの宝石／朱川湊人
- 光と影を映す／山田太一
- 謀略監獄／ヘレン・ギルトロウ

児童

- えんぎがいい／雨宮尚子
- 三年二組、みんなよい子です！
／くすのきしげのり
- ジオパークへ行こう！／林信太郎
- しゅくだい大なわとび／福田岩緒
- 手と手をつないで
／ブリッタ・テッケントラップ

その他

- 写真・図解 日本の仏像／薬師寺君子
- 無戸籍の日本人／井戸まさえ
- 高野どうふレシピ／石澤清美
- 和菓子アクセサリ／desicco
- 他人に話したくなる相続の話
／主婦の友社

ほか427冊